

第4期(令和5年7月1日～令和6年6月30日)事業計画

1. 事業計画

第4期の事業計画について、定款第4条(事業)の各事項ごとに次のとおりとする。

定款に規定する事業 ()内担当部会	具体的な事業項目	対象	第4期(R5.7.1 から R6.6.30)
(1)建設発生土のリサイクル技術に関する研究開発及び研修 (品質・技術部会)	建設発生土リサイクル技術開発	会員	①建設発生土リサイクル技術開発ニーズ等を検討する。(継続)
	建設発生土リサイクル技術研修	会員	②技術研修会を定期的で開催する。(継続)
(2)建設発生土のリサイクルの質の向上に関する研究開発及び研修 (品質・技術部会)	土質改良プラント第三者認証取得支援	会員	① 土質改良プラント第三者認証取得を支援するため講習会等を開催する(技術研修会を兼ねる、新規)。
	適正な発生土受入・搬出確保手段	会員	② 不正防止対応の JASRA「受領書」等様式を作成する(新規)。
(3)建設発生土に関する情報、資料の収集及び提供 (情報・広報部会)	建設発生土に関する情報、資料の収集及び提供	一般	①建設発生土リサイクル講習会を開催する。(継続) ②次の情報を収集しHP上で情報提供する。(継続) ・会員企業のプラント稼働情報、保有機器情報 ・自治体リサイクル製品認定制度における建設発生土土質改良土の認定状況、利用実績 ・テレビ・新聞等マスメディアに取り上げられた建設発生土に関する情報 ・NETIS 登録の建設発生土リサイクル技術 ③ 盛土規制法許可施設・ストックヤード登録施設DB ・会員プラントDBを改修し、盛土規制法許可・届出施設及びストックヤード運営事業者登録制度施設情報DBを構築する(新規)。
	地域ごとの建設発生土利用調整(マネジメント)に向けた活動	会員	④国交省及び関係団体と連携し、地域ごとの建設発生土利用調整(マネジメント)実施に向けて検討を進める。(継続)
(4)建設発生土に関する技術者の養成 (品質・技術部会)	建設発生土専門技術者資格制度構築・運営	一般	① 「登録土質改良基幹技能者講習」事業を開始する。講習会を1回開催する。(新規)
(5)建設発生土のリサイクル技術を活用した防災、減災、国土強靱化の推進 (災害対応部会)	建設発生土のリサイクル技術を活用した防災、減災、国土強靱化の推進	会員 一般	①防災、減災、国土強靱化の推進に資する建設発生土及び土質改良土の活用事例を収集しHPに掲載する。(継続) ②防災、減災、国土強靱化に資する建設発生土の活用方法を検討する。(継続)
(6)建設発生土を活用した災害復旧、復興支援 (災害対応部会)	建設発生土を活用した災害復旧、復興支援	会員 一般	①災害復旧、復興支援に資する建設発生土及び土質改良土の活用事例を収集しHPに掲載する。(継続) ②災害発生土の活用方法を検討する。(継続)
(7)前各号に付帯する一切の事業 (情報・広報部会)	土に関する幅広い情報交換活動	一般	①「土サミット FUKUOKA2023」(10/26,27)を開催する。(継続、プログラム等は別添資料参照)
	展示会等への出展による建設発生土リサイクルへの取組の紹介・普及・啓発活動	一般	②地方ごとに開催する建設技術フェア等に出展する。(継続)
	協会ニュース発行	会員 一般	③年4回程度「JASRA ニュース」を発行する。(継続)
	研究助成	一般	④ 若手研究者(学生を含む)を対象とした研究助成制度を開始する。(新規) ・第1回研究助成テーマ「建設発生土リサイクルによるCO2削減効果の算定(仮)」

(参考)研究助成について

・「JASRA VISION2050」において研究助成制度を位置づけ

目標T3: 魅力ある建設発生土リサイクル業界および建設発生土の貴重な資源としての理解・認識の醸成に努める

A18: 若手研究者の育成

建設発生土に関する研究拡大、研究者増大のため、建設発生土リサイクルなどを研究テーマとする若手研究者への研究費助成制度を創設する。

・第1回研究助成テーマ「建設発生土リサイクルによるCO₂削減効果の算定(仮)」について

(テーマ設定の趣旨)

- ・カーボンニュートラル(CN)は、世界的喫緊の課題
- ・建設廃棄物、建設発生土のリサイクル率は高い水準を維持しているものの、リサイクルによる環境負荷量、CO₂排出量の観点での評価が実施されていない。
- ・そこで、建設発生土リサイクルによるCO₂排出量削減効果を試算し、建設発生土リサイクルの社会経済的価値をPRする。

(研究手法—CO₂排出量算定方法—の概要)

- ・①建設発生土を工事間利用、土質改良プラント経由利用する場合
- ・②建設発生土を受入地へ搬出し、利用土砂は新材を用いる場合
- ・①と②のCO₂排出量の差を建設発生土リサイクルによるCO₂削減効果とする
- ・①のCO₂排出量算定について
土質改良プラント稼働に伴うエネルギー消費量、改良材利用量はJASRA会員が提供
発生土運搬、エネルギー消費、改良材利用のCO₂排出量原単位は既存研究成果を用いる
- ・②のCO₂排出量算定について
受入地開発、新材採取によるCO₂排出量原単位は、既存研究成果等を用いる

(研究成果のイメージ)

- ・建設副産物センサ結果による建設発生土リサイクル実態をベースとすると、H30年度の建設発生土リサイクル率の向上により、建設発生土搬出・土砂利用に伴うCO₂排出量は、H30年度はH24年度より〇%減少。
- ・「建設リサイクル推進計画2020」における建設発生土の2024年度達成基準80%を上回る90%を達成した場合、CO₂排出量は〇%削減される。

(研究助成先)

- ・今後、関係研究者等に照会し、理事会で協議し研究助成先(大学等研究室)1か所を決定予定。
- ・JASRAとしては、大学院生等学生が主体的に取り組んでいただける研究助成先を希望。

(研究助成条件)

- ・JASRA会員3支部3社以上の土質改良プラント・ストックヤード視察を条件とする。

(研究成果公表)

- ・2024年開催予定の「土サミット2024」において、研究成果の公表を予定。

(研究助成額)

- ・50万円(使用用途は問わない)
- ・JASRA会員3支部3社以上の土質改良プラント・ストックヤード視察経費は、視察先会社が負担。

以上

2. 総会、理事会等開催予定

第4期の理事会、部会等の開催予定は、次のとおりとする。

※部会は原則、理事会開催日に理事会の前後の時間帯で開催予定

年	月	日時	行事	講習会・研修会・展示会	備考
R5 年	7月	11日(火)～13日(木)		地盤工学研究発表会技術展示(福岡市)	福岡国際会議場
		18日(火)10:30～	理事会		事務局・Web
		31日(月)14:00～	会計監査		事務局
	8月	8日(火)13:30～	理事会		事務局・Web
		18日(金)15:30～	第3期社員総会		第一ホテル東京
		18日(金)16:30～		講演会	第一ホテル東京
	9月	12日(火)13:30～	理事会		事務局・Web
		12日(火)15:30～		第4期第1回技術研修会	事務局・Web
	10月	4日(火)、5日(木)		建設フェア北陸 2023in 金沢	石川県産業展示館
		10日(火)13:30～	理事会		事務局・Web
		26日(木)10:00～		土サミット FUKUOKA2023	ニューオータニ博多
		27日(金)9:00～		土サミット FUKUOKA2023 現地見学会	
	11月	14日(火)13:30～	理事会		事務局・Web
		14日(火)15:30～		第4期第2回技術研修会	事務局・Web
	12月	6日(水)、7日(木)		建設技術フェア in 中部	ポートメッセなごや
		12日(火)13:30～	理事会		事務局・Web
		28日(木)	仕事納め		
	R6 年	1月	4日(木)	仕事始め	
9日(火)13:30～			理事会		事務局・Web
9日(火)15:00～				第4期第3回技術研修会 (第三者認証取得支援講習)	事務局・Web
下旬			中間会計監査		未定
2月		13日(火)13:30～	理事会		事務局・Web
3月		12日(火)13:30～	理事会		事務局・Web
4月		9日(火)13:30～	理事会		事務局・Web
		未定		第3回建設発生土リサイクル講習会	未定
5月		14日(火)13:30～	理事会		事務局・Web
		14日(火)15:00～		第4期第4回技術研修会 (第三者認証取得支援講習)	事務局・Web
	未定		登録土質改良基幹技能者講習(第1回)	未定	
6月	11日(火)13:30～	理事会		事務局・Web	

3. 部会会員

部会等	部会長	部会員
品質・技術 部会	吉光 成寛 (吉光組)	赤坂 泰子, 大和田 伸也 (ホツマプラント) 田中 均 (田中建設) 高野 昇 (先端建設技術センター) 小重 忠司 (サンエコセンター) 張本 洋二, 大久保 一誠 (張本創研) 大坪 尚宏, 梶島 浩幸 (大坪G S I) 道 勇治 (吉光組) 塩野 真康 (三立建設) 辻 孝太郎, 加藤 浩之, 伊藤 徹也 (昭和鋼機) 奥野 廣造 (オクノコトー) 管 博久 (弥生石材) 辰野 智規 (北陸エースコン) 長岡 勇 (環境管理センター) 大久保 浩二, 菊池 一美 (大久保建設) 増田 慎司 (アダプト)
情報・広報 部会	小重 忠司 (サンエコセ ンター)	赤坂 泰子, 市川 文子 (ホツマプラント) 高野 昇 (先端建設技術センター) 吉光 成寛 (吉光組) 島内 雅志 (環境施設) 大塚 義一, 松本 広之 (奥村組) 田中 久雄 (彩光) 宮上 直幸 (田中建設) 若生 伸二 (泉興業) 大久保 一誠 (張本創研) 奥野 廣造 (オクノコトー) 管 博久 (弥生石材) 山田 敏彦 (英光産業) 辻 雅敏 (エスエムエス) 大久保 浩二, 菊池 一美 (大久保建設) 増田 慎司 (アダプト)
災害対応 部会	赤坂 泰子 (ホツマプラ ント)	高野 昇 (先端建設技術センター) 本村 信人 (リサイクルファクトリー) 田中 久雄 (彩光) 大久保 一誠 (張本創研) 管 博久 (弥生石材)
支部 部会 (部会員は 支部長)	高野 昇 (本部担当理 事)	赤坂 泰子 (東北支部長) 中谷 泰之 (近畿支部長) 大坪 尚宏 (九州支部長) 注: 正会員3社以上の支部に支部長をおくことができるものとする。理事会にて、支部の地域状況等を考慮し支部長の選任可否を判断し、支部長を選任できる場合は理事長が委嘱する。選任された支部長が理事となっていない場合は、直近の総会にて理事に推薦する。
サミット 実行委員会	赤坂 泰子 (ホツマプラ ント)	高野 昇 (先端建設技術センター) 小重 忠司 (サンエコセンター) 大坪 尚宏 (大坪GSI) 大塚 義一 (奥村組) 塚田 幸広 (JASRA 顧問、アジア航測) 松永 昭吾 (インフラ・ラボ) ※ 加藤 隆 (大成建設) ※ 市川 文子, 宮澤 めぐみ (ホツマプラント) ※実行委員長が土サミット FUKUOKA2023 開催に向けて会員外から特別に委員を委嘱したもの

注: R5 年 9 月以降、支部部会以外の部会員を新規募集予定。